

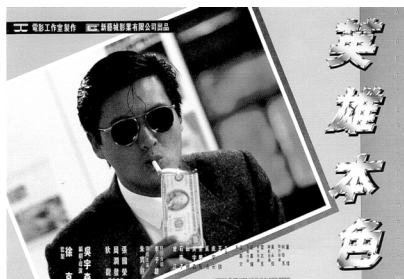
英雄本色

男たちの挽歌

現地公開：1986年

【監督】 ジョン・ウー（吳宇森）

【出演】 チョウ・ユンファ（周潤發）／
ティ・ロン（狄龍）／レスリー・チャン（張國榮）



●映画紹介●

偽札作りをシノギとする極道・マークとホーは良き仲間。ところがホーは弟が警官の道を歩むと決めたことから足抜けを決意。最後の仕事をしに台湾へ向かうが、裏切りに遭い転落。そこからマーク、ホー、弟のキット、3人の恩讐の扉が開いた…。

ジョン・ウー監督の派手すぎるガンアクション、惜しげもなく爆発させまくる大火力バトル。その後の香港アクション映画の方向を決定づけ、誰もがバイブルとあがめる超名作。マーク役のチョウ・ユンファ、キット役の若きレスリーなど男優たちのこぼれる魅力もまぶしい。続編も（続編なのかよくわからないのも含めて）多数制作された。ちなみに本作では鳩は飛ばない。

コミカライズ

英雄本色 鋼筆手繪漫畫

黄水斌/画 2017~2020年 ハードカバー全3巻
地上製作 SHUIPANWORKS

★漫画版メモ★

2016年夏、書籍見本市「香港書展」で発刊が告知されるや話題騒然。映画のワンシーンワンシーンを忠実に、細い金属ペン1本で線を引き、ペンの線だけでアミをかけて陰影まで表現する。気の遠くなるような手間がかかっており、もはや漫画というより美術工芸品。

作画は黄水斌ひとりで行っている。長く「風雲」の天下出版で馬榮成のもと作画員を務め、その後小版元「大渡」での作品発表を経て独立。絵のうまさ、精巧さはお墨付きた。しかし血と硝煙と脂でぬるぬるテカテカになった主役三人の顔が映画の代名詞なのに、なんでまたこんな硬く端正なペンの積み重ねで再現しようと思いついたのか？この人は江口寿史風タッチでの美人画集「FRUIT PUNCH」シリーズや、薄装本劇画のカラーペイント原稿も数多くこなしてきたのでなんでも描けるのだが…。ただ、あえて困難な画法に挑むことでスクリーンに熱い男たちに応えた、その想いは伝わる。入魂のコミカライズだ。今後「男たちの挽歌II」漫画版刊行計画もあるとの事。期待したい。

